

〔倭名類聚抄三面〕顎

附觸體

文字集略云、顎

落胡反、字亦作饅、和腦蓋也。

〔箋注倭名類聚抄頭面〕按加之良乃加波良、頭瓦之義、頭之有顎猶屋之有瓦也。

○中說文頤顎首骨

也、顯宗紀、訓加之良乃保禰、

〔身體和名集波ハチ〕顎

〔日本書紀一神代〕一書曰、○中天照大神復遣天熊人往看之、是時保食神實已死矣、唯有其神之頂化爲

牛馬顎上生粟、眉上生蠶、眼中生稗、腹中生稻、隱生麥及大豆小豆、天熊人悉取持去而奉進之、

〔和漢三才圖會十一經絡〕頭部 骨度

凡人長七尺五寸○中 頭大骨圍二尺六寸 髮以下至顎長一尺 髮所覆顎至頂一尺二寸 兩顎相去七寸 角以下至柱骨長一尺角者耳上側旁也、柱者肩胛上頸根也 耳前當耳門者廣一尺三寸 耳後當完骨者九寸

〔新撰字鏡〕顎古斤反、加波。

〔同〕補扶父反、上頰知、上頰後、加波知

〔倭名類聚抄三面〕顎 文字集略云、顎古盍反、和加波知

〔箋注倭名類聚抄頭面〕新撰字鏡顎字、補字並同訓、今物語謂之加萬知、醫心方、頬車訓川良加萬千、

新撰字鏡、輔字訓車乃加波知、按玉篇云、顎車領骨廣韻同、按顎車卽領車持牙者、持上牙者謂之上領車、持下牙者謂之下領車、說詳頰條輔車下、文字集略顎蓋統言上下領車也、

〔伊呂波字類抄加人體〕顎カハチ、類車領骨也、

顎イ 同

車同輔車是也、

〔增補下學集上體〕顎

〔今物語〕伏見中納言といひける人のもとへ、西行法師行て尋けるに、あるじはありきたがひたる程に、さぶらひの出で、なにごといふ法師ぞといふに、えんに亥りかけて居たるをげしかるほうの、かくしがましきぞと思ひたるけしきにて、侍共にうみをこせたるに、みすのうちに筆の